

研究だより

「生徒の非認知能力の育成」
－生徒が『主語』の主體的な活動を通して－

令和8年6月 No.2
校長 川中子 登志雄
研究主任

1. 生徒アンケートの紹介

5月に行った考えること書くことについてのアンケート結果の紹介をします。こんな質問をしました。「賢い人」「尊敬される人」「社会貢献できる人」とはどんな人ですか？（テストの点数が高い！以外で書いてください。）

人口知能にアンケートを結果アップロードし、ランキングにしてもらいました。

1位：周りを見る・気遣い

周囲の状況を理解し、気を配って行動できること。「周りをよく見て行動できる人」

2位：思いやり・優しさ

相手の気持ちを考え、優しく接すること。「相手のことを思いやれて、効率よく行動する人」

3位：自分で考えて行動する（主体性）

指示されなくても自ら判断し、行動に移せること。「自ら考えて行動する人」

4位：努力する・継続する力

コツコツ取り組み、継続して努力できること。「毎日コツコツ勉強できる人」

5位：頭がいい・賢い・判断力

知識だけでなく、状況判断や思考力が高いこと。「頭の回転が速く、即いい回答が出せる人」

6位：リーダーシップ

周囲をまとめ、引っ張っていく力。「何事にも自分が先頭に立ち、仲間を引っ張っていける人」

7位：コミュニケーション能力

話す・聞く・伝えるが上手で、人と関わる力が高いこと。「みんなの意見をまとめられる人」

8位：信頼される・信用される

周囲から信頼される行動ができること。「いろいろな人の信用を勝ち取っている人」

9位：多角的に考える力

物事をいろんな視点から考えられること。「一つの物事に対していろんな方面で考えられる人」

10位：礼儀・挨拶・常識

基本的なマナーや常識を大切にできること。「挨拶や感謝など礼儀がなっている人」

これらがまさに非認知能力であり、「国語で●●点とれた！」という認知能力の対義語とされています。しかしながら、非認知能力と認知能力は、関わりがあると思いませんか。ぜひ非認知能力を高めることで、「どのように社会や自分の人生をよりよいものにしていくのか」を考えていきましょう。

2. 家庭へのお願い（学校と家庭が同じ方向を向くことで、生徒の力は大きく伸びます。）

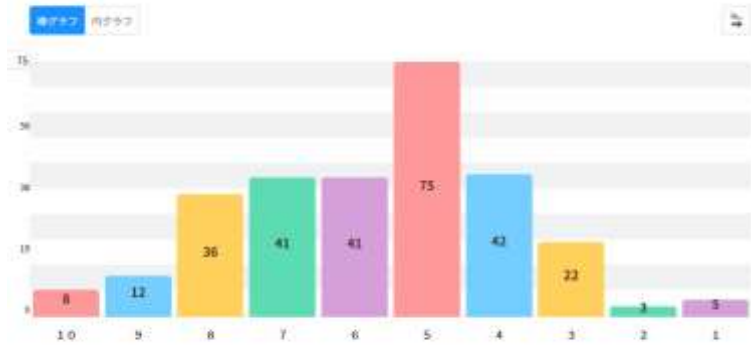
上記に記載した10の力の中でお子さんには、どの力が備わっていますか。ランキングにしてみてください。お子さん自身はどのように思っているのでしょうか。お互いに話をする機会としてみてはいかがでしょうか。

3. (生徒) アンケート結果

問5では、多面的に考える力についての問いです。

肯定意見(6~10)が、48%、否定意見(1~4)が、25%、どちらでもない(5)が27%でした。様々な教育活動の中で、考える力を育てていきます。

Q5 色々な物事について多面的(色々な方向から)考えることは得意ですか？ 10段階で言うと、どれくらい？ (10が得意、1が不得意)



回答者数 285

問7は、考えたことを書くことについての問いです。

肯定意見(6~10)が、51%、否定意見(1~4)が、29%、どちらでもない(5)が20%でした。様々な教育活動の中で肯定意見が増えることを願っています。

Q7 自分の考えたことを書くことは得意ですか？ 10段階で言うと、どれくらい？ (10が得意、1が不得意)



回答者数 283

問8は、自分の考えで行動することについての問いです。

肯定意見(6~10)が、55%、否定意見(1~4)が、24%、どちらでもない(5)が20%でした。

Q8 自分の考えで行動することは得意ですか？ 10段階で言うと、どれくらい？ (10が得意、1が不得意)



回答者数 282